



週報

■事務局/〒706-0011 玉野市宇野1-11-1
 TEL. 0863-33-2228 FAX. 0863-33-2225
 ホームページ <http://www.tamano.or.jp/rotary>
 E-mail tamanorc@tamano.or.jp

■例会場/瀬戸大橋カントリークラブ
 〒706-0153 玉野市滝1640-1
 TEL. 0863-71-4500 FAX. 0863-71-4509

■例会日/毎週金曜日(12:30～13:30)

No.2048	
2月26日例会 プログラム	「アメリカ発金融危機とその後」 元山陰合同銀行個人融資担当 瀬山 純一様
3月5日例会 プログラム	「楽しい交通安全」 玉野交通安全協会 シルバーセフティサポーター 三村 清子様
2月26日のメニュー	豚ヒレ内の鰻油炒め・小海老と緑豆の塩炒め・茄子とピーマンのピリから炒め・風呂吹き大根・わかめスープ・ご飯・お漬物・コーヒー

前回(2月19日)例会記録

出席報告	会員総数	33名	出席者数	27名	欠席者数	6名	出席率	81.82%	前回補正率	87.88%
	前回補正者	星野君 三谷君 立石君 上原君								
	欠席者	林君 井上君 岸君 仲田君 小野君 山田(次)君								

来訪者 岡山丸の内RC 渡辺 誠様(第11グループガバナー補佐)、小林 茂則様(IM 実行委員長)
 鴨東 正雄様(IM 実行副委員長)、久保 彰様(会長)

会長挨拶

皆様、今日は。先ず、本日のビジターをご紹介致します。IMを共同開催させて頂きました岡山丸の内RCよりお出で頂いております。国際ロータリー第2690地区第11グループガバナー補佐の渡辺誠様、IM 実行委員長の小林茂則様、IM 実行副委員長の鴨東正雄様、会長の久保彰様です。IMで本当にお世話になりました。改めて会員一同お礼申し上げます。後程、ガバナー補佐の渡辺誠様からお話を頂きたいと思っております。

さて、今確定申告真っ盛りですが、今日は納税者番号のお話です。政府は納税者番号の導入を参議院選挙のマニフェストに入れ秋の臨時国会に提出、平成23年度から実施する方針と言われます。導入の目的は国民の所得を正確に把握することですが、それは税収が37兆円台に落ち込んだ現状を踏まえ課税漏れを防ぐ一方で、消費税税率引き上げに際して課税取引をより正確に捕捉する必要があること、新しい格差是正としての「給付付き税額控除」制度の導入検討が背景にあります。現行の所得控除制度は税額の無い人には恩恵はなく高所得者に有利で不公平という議論は以前よりあり、「給付付き税額控除」により高所得者には税額控除、低所得者には現金給付を実施し、少子化対策・就労支援にしたい意向です。社会保障の意味合いを付加した「給付付き税額控除」の導入は、不正受給者の防止の必要性から納税者番号の導入なくして成り立たないところです。

グリーンカード制度から今日まで事あるごとに導入をいわれ、その度に世論の反対で見送られた制度ですが、今回はどうでしょうか。

岡山丸の内ロータリークラブ 渡辺ガバナー補佐挨拶

皆様、今日は。1月31日のIMは本当に成功裏に終えることができました。玉野RC及び岡山丸の内RCのメンバー全員が協力して行った賜物だと思います。実は当日ガバナーをお迎えにあたりハプニングがありましたが、うまく連携してしっかりと皆さんにやって頂いて、間違いのない対応ができました。早速後日、ガバナーからお礼状を頂きました。本当にこれも皆様のお陰だと思っています。

本当にどうもありがとうございました。



幹事報告

- 小林ガバナー・エレクト事務所より2011年度ロータリー世界平和フェローシップ推薦の依頼及び申請書が届いております。
- 米山記念奨学会より中国学友会第2回総会・懇親会のご案内が届いております。日時:2010年7月17日(土) 場所:上海国際会議センター、登録料:12,000円、登録に関するお問合せは米山記念奨学会事務局まで。
- ハイライトよねやまNo.120が届いております。

- ・ 3月のロータリーレートのお知らせが届いております。1ドル=90円
- ・ 玉野商工会議所よりほほえみマリン大使選考に伴う協賛についてのお願いが届いております。
- ・ 先週お願いしました、ハイチとカンボジアへの寄付金をもう一度お願いします。今回はコインでお願いします。
- ・ 他クラブ週報、例会変更通知は回覧させていただきます。

スマイル・ボックス

- ・ 岡山丸の内 RC ガバナー補佐渡辺誠様からスマイルー今日は1月31日実施されました、IMのご挨拶に伺いました。よろしく申し上げます。
- ・ 藤田君、東川君①、松尾君、三宅(照)君、島田君、白石君、富永君ー岡山丸の内 RC 渡辺ガバナー補佐、小林 IM 実行委員長、鴨東 IM 実行副委員長、久保会長、ようこそいらっしゃいました。
- ・ 石川君ー①大西先生にお世話になりました。②桜並木清掃欠席すみません。
- ・ 東川君②ー先週の清掃奉仕ご苦労様でした。
- ・ 星野君ー①理由を証明させて下さい。②2月12日欠席しました。③2月14日桜のメンテナンス参加できなくて申し訳ありません。
- ・ 谷口君ー①緋田さん、岸本さん、松尾先生、白石さん、すいません。3月5日にPTAの会議が岡山であり、遅くなるためお祝いの会に出席できません。②4月8日高校入学式があり、PTA会長として最後の挨拶があり大阪リバーサイド RC の周年式典に行けません！残念ですがすいません！③名鑑忘れしました。
- ・ 緋田君ー本日早退。 ・ 三宅(保)君ー1月22日遅刻。 ・ 立石君ー①前回欠席。②本日早退。
- ・ 上原君ー前回欠席 ・ 東川君③ー本日調停です、早退します。

プログラム 「ポリオ・プラスの現状」 松尾 洋二君

ポリオ・プラスにつきましてはロータリアンの皆様にはよくご存じのことですが、国際ロータリーとの関わりについて、また現状についてもう一度見直してみたいと思います。また、2009年7月に出版されました国際ポリオ・プラス委員会声明文をご紹介します。

ポリオとは、日本語で「急性灰白髄炎（小児麻痺）」と呼ばれ恐れられていました。原因はポリオウイルスの感染です。ほとんどの例ではいわゆる不顕性感染で終世免疫を獲得しますが、0.1～0.5%が麻痺型となります。人類のポリオとの戦いはとりもなおさずワクチンの開発の歴史でありました。1955年に初めてワクチンが認められて以来、改良が繰り返され、経口生ワクチンが劇的な効果をあげ、先進国では1970年代に強毒性株の排除に成功しました。1998年における世界のポリオ状況は、サハラ以南のアフリカや西南アジア諸国ではまだ野生株が存在しています。国際ロータリーは1979年に初めてポリオのプロジェクトに携わりました。フィリピンの600万の児童にポリオの予防接種をするという5ヵ年間の誓約でした。1980年代初めに、世界中の児童にポリオの予防接種をしようというロータリー史上最も意欲的なプログラムを計画し、1985年に「ポリオ・プラス・プログラム」を設けました。ポリオと共にハシカ、ジフテリア、結核、百日咳、破傷風の五つをプラスして同時追放を目的としていた為、ポリオ・プラスと呼んでいましたが、現在ではプラスの意味が世界的なポリオ撲滅運動がもたらす遺産のことをさしています。1995年規定審議会において、ポリオ・プラスの目的を2000年までにポリオを一掃し、2005年までにポリオの撲滅を証明することを採択しました。2007年規定審議会ではポリオの撲滅を国際ロータリーの最優先の目標とすることを確認し、野生ポリオウイルスの撲滅の証明がなされるまで、他のプロジェクトを採用しないこととしました。2007年11月にビル・アンド・メリнда・ゲイツ財団は、ポリオ撲滅のため、ロータリーに1億ドルのチャレンジ・グラントを授与しました。ゲイツ財団は2009年に更に2億5500万ドルの追加寄付を発表しまして、ロータリー財団は2012年6月30日までに2億ドルを集めることに同意しました。2009年6月で約9000万ドルが集まっています。2009年7月には、国際ポリオ・プラス委員会が、「ポリオ撲滅に関する最新の数字および世界的活動における国際ロータリーの役割について」という声明を出したので、その要約を紹介します。最後に、いくつかのロータリークラブのポリオ撲滅活動を紹介します。ロータリアンが取り組んできたポリオ撲滅運動によって、ポリオの発症は99%以上、ポリオ発生国は残りわずか4ヶ国（ナイジェリア、インド、パキスタン、アフガニスタン）にまで追い詰めました。しかし、ロータリーが掲げた目標はまだ達成されていません。ポリオが100%撲滅したという宣言が出されるまでロータリーとポリオの戦いは終わっていません。